

公益財団法人大倉精神文化研究所
令和3年度事業報告書に係る附属明細書

1 精神文化の研究及びその成果の普及

(3) 創業者及び研究所関連資料の研究・調査とその成果の普及

研究所沿革史資料の整理作業により、データベース登録点数は50,692点になりました。それとは別に、書簡の登録点数は19,691点、葉書の登録点数は10,592点となりました。

2 地域における歴史・文化の研究及びその成果の普及

(3) 依頼原稿の執筆

<表-7> 『大倉山 STYLE かわら版!』ASA大倉山情報紙、連載「大好き!大倉山」に執筆

発行時期	タイトル	執筆者
第58回(4月15日)	港北センターのサクラ	平井 誠二
第59回(5月15日)	菊名駅と商店街	平井 誠二
第60回(6月15日)	なんともややこしい綱島街道—その1—	平井 誠二
第61回(7月15日)	東京オリムピツク鶴見川漕艇コース—地域の外、その4—	平井 誠二
第62回(8月15日)	なんともややこしい綱島街道—その2—	平井 誠二
第63回(10月15日)	忘れられた作家? 内山順(したごう)	平井 誠二
第64回(11月15日)	内山順が見た昭和30年代の港北	平井 誠二
第65回(1月15日)	新発見!『檜原萬拙歌集』	平井 誠二
第66回(2月15日)	昭和6年の大倉山地域	平井 誠二
第67回(3月15日)	二つの大豆戸町	平井 誠二

<表-8> 『新横浜新聞』『横浜日吉新聞』地域インターネット新聞社、連載「【わがまち港北番外編】こうぼく歴史まち歩き」> (タイトルは『新横浜新聞』掲載時のもの)

発行時期	タイトル	執筆者
第4回(4月20日)	菊名駅周辺の見どころを巡る	林 宏美
第5回(6月10日)	温泉、桃、新駅再開発…古き良き時代と未来が交わる「綱島」(前編)	林 宏美
第6回(8月6日)	綱島駅の西側に残る自然や古墳、歴史と芸術感じ商店街へ(後編)	林 宏美
第7回(9月6日)	知事邸跡と緑の丘、茂吉の名残、ドラマロケ地「篠原」を巡る	林 宏美
第8回(10月12日)	平安期に地名現れる「港北区高田」、高台の風景と武将伝説	林 宏美
第9回(11月10日)	太尾から大倉山へ、まもなく90年を迎える駅と史跡を巡る	林 宏美

第10回(12月8日)	しだれ桜の古刹と今は無き「愛国寺」「菖蒲園」、樽町を歩く	林 宏美
第11回(2月24日)	丘と都会と古刹と自然「新吉田の謎」は巡って納得	林 宏美

<表-9> その他

発行時期	書名・掲載誌	タイトル	執筆者
11月3日	『神園』第26号	「御逸事」収録の藤波言忠談話の資料的価値：明治天皇、藤波と乃木希典の逸話から	星原 大輔
3月8日	よこはま縁むすび講中HP	港北区・緑区・青葉区・都筑区は“鶴見川流域文化圏”	平井 誠二
3月31日	『鶴見川水害予防組合史 増補復刻版』	講演 鶴見川改修期成同盟会設立100年を記念して	平井 誠二

(4)調査協力・記事掲載

新聞・雑誌名	発行時期等
『仏教タイムス』	4月1日号、3月3日号、3月10日号
『日本歴史』	4月号、5月号、2月号、3月号
『タウンニュース』	4月15日号、7月29日号、8月26日号、12月9日号
『えがお』	40号(4月15日)
『地方史研究』	4月号(410号)
『広報よこはま』港北区版	8月号、12月号、1月号
『suumoプレミアム取材記事』	インタビューで紐解く「大倉山」の魅力
『季刊こすもす』	秋236号(10月)
『cowcamo(カウカモ)』	街の先輩に聞く!【#大倉山】(10月1日)
『週刊ポスト』	10月1日号
『新横浜新聞』	10月27日、11月18日、11月22日、12月3日、12月27日、1月27日、2月9日、3月14日
『横浜日吉新聞』	5月24日、11月18日、12月14日、1月27日
『神奈川新聞』	11月24日、2月6日
『楽遊学』	12月号
大曾根小学校ホームページ	12月1日
『薬・ひこばえ』	50号(1月10日)
『毎日新聞』	1月16日
「大倉山謳歌」(三井不動産レジデンシャル)	2月10日

『東京新聞』	2月28日
--------	-------

3 附属図書館の運営及び図書資料の充実・整備

(1) 図書館の公開

大倉山記念館や地域の行事に連動したイベント

協力したイベント等	実施時期等
大倉山秋の芸術祭	10月29日～10月31日(リユース文庫100冊提供) 臨時休日開館:10月31日
大倉山記念館オープンデー	臨時休日開館:9月12日、2月13日は中止
大倉山観梅会	新型コロナウイルス感染防止のため中止
港北図書館友の会へ書籍を寄贈し、 図書再利用活動の支援	新型コロナウイルス感染防止のため中止